



原点 に立って、 未来 へステップ

2015-2016 年度
東日本区理事通信
第 7 号
2016年 1月1日発行

■今月の強調目標 IBC/DBC

理事メッセージ 東日本区理事 渡辺 隆

明 けましておめでとうございます。
お陰さまで、2015～16年度の半期を皆様のご協力をいただき大過なく進めることが出来ました。各部の部会、クラブ周年事業に出席させていただき、多くのことを学ばせて頂きました。クラブ・部の規模に関わらず、ワイズに限らず知識・能力豊かな方々に接することができ感謝申し上げます。

幸福三説について、次のことが書かれていました。
一つには「惜福と言う自分に与えられた福を使い尽くしてしまわずに、天に預けておく、そして、この惜福の工夫を積んでいる人が不思議とまた福に遇う」
二つ目は「分福と言って自分一人の幸福はあり得ない、周囲を幸福にすることが、自らの幸福につながる」
三つ目は「植福と言って将来にわたって幸せであり続けるように、今から幸福の種を蒔いておくこと」と説かれています。

まさに多くのワイズメンがこの幸福に心掛けられ、ワイズの奉仕活動はこのような幸福論に基づいているように思えました。

期で39名の新会員を迎えることが出来ました。
去る12月11日～15日にはアジア地域の次期理事研修会そして年央会議が韓国・インチョンで開催されました。東日本区から利根川次期理事と共に出席させていただきました。東西日本・台湾・フィリピン・スリランカ区での会員減少が報告され、東日本区については、アジア会長より、「20人以下のクラブを20人まで会員を引き上げて欲しい」「解散したクラブを蘇らせてほしい」「新クラブを設立してほしい」などのお願いがありました。そして、アジア地域は本年8月4日よりSOP(サウスパシフィック)地域が加えられ、Asia Pacific 地域となることが報告されました。

また、東日本区地域奉仕事業の「CS写真コンテスト」を紹介したところ、アジア会長から、アジア地域すべての区でこの「CS写真コンテスト」を行なうことが決定されました。奮って、この活動を推進願います。

最後に、次期アジア会長Tung-MingHsiao(タン・ミン・シャオ)さんから今年8月に台北で開催される国際大会へ参加依頼のアピールがされました。台湾とIBC締結をされているクラブはぜひ積極的に参加してほしいとの依頼を受けました。

3月には次期会長研修会が開催されます。6月の東日本区大会に向けた準備も大詰めとなってきました。ぜひ、皆様のご協力をいただけますようお願いいたします。

アジア会長メッセージ アジア地域会長・国際議員 エドワード・KW・オン

親 愛なる渡辺理事様、ご要望のとおり、理事通信へのメッセージを喜んでお送りいたします。

2015年が過ぎ、我々は希望と期待をもって、果敢に2016年の新しい年を迎えようとしてしています。ワイズ年度としてはちょうど半期が終わったところです。個人のゴールとともに、クラブ、部、区では、それぞれのゴールや目標を達成したと言えますか？

2016年6月に現在の任期が終了するまで、6か月弱あります。私たちは、すべてのゴールを達成し、成功裏に終わることを望みます。仕事をよりよくするには、より多くの努力をすることとよいチームワークが求められます。よいチームワークは、目標やゴールの共通理解、協力、各自の最善の努力から生まれます。

コリントの教会への手紙の中で、パウロは、体のどの部分も重要であることを覚えなさいと教会員に諭しました。体内では調和と、お互いへのいたわりがなければなりません。時にはより強い部分が、弱い部分を助けることも必要です。(コリントの信徒への第一の手紙12章12節—26節)

ですから、各クラブの中でも、メンバーはともに働き、お互いにいたわり合わなければなりません。そうすることにより、YMCAのサービスクラブとして、個人や家族のレベルから、身近なコミュニティ、自国そして外国のコミュニティへの



いたわりや奉仕が広がります。そして、部、区、アジア地域のそれぞれのレベルで、このいたわりや共有の概念が拡大されることとなります。

東日本区は、アジアの中で強い地区の一つです。ですからより弱い地区を助ける必要があります。手を取り合って、我々のアジア地域をより強くしなければなりません。より強くするという事は、会員数の増加、新しいクラブの設立、また財政の強化にかかっています。各メンバーが誇りを持ち、友人、隣人、同僚、家族に、我々の組織のメンバーとなるよう紹介することを楽しまなければなりません。各メンバーとご家族にとって新年が豊かで幸せに満ちた、よい年となるようお祈りいたします。我々は一つであり、連帯していることを常に覚えてください。(訳:利根川次期理事)

強調目標 **国際交流** IBC/DBC強調月間に寄せて
国際・交流事業主任
柳澤 岳（松本）

あけましておめでとうございます。今年もワイズの皆さまに豊かな祝福がありますように。

1月はIBC/DBC強調月間でございます。

昨年夏の京都でのアジア大会で「IBC・DBCお見合い特設ブース」を設置しましたところ、幾つかのクラブから

“お見合い”のご希望を頂き、ありがとうございました。その後、締結に向けた動きが進行中でございます。

また、今年8月には、台湾(台北)で国際大会が開催されます。東日本区には、台湾とのIBCを締結しているクラブが沢山ありますので、是非この機会を利用して、交流の輪を広げて頂きたいと思っております。

今期の目標は、IBC締結3クラブ以上、DBC締結2クラブ以上としております。よろしく願い致します。

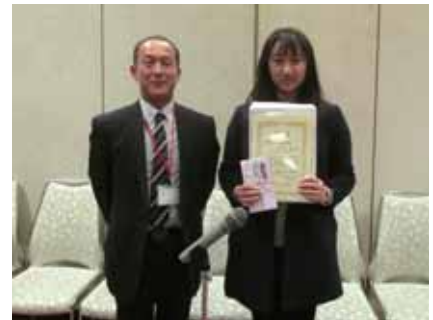
NEWS **YMCA** **松本クラブ「アジア賞授賞式」**
日本 YMCA 同盟研究所所長
大和田 浩二（御殿場クラブ）

12月13日(日)、松本市梅風閣を会場に、1999年より毎年行われている、松本クラブ主催のアジア賞の授賞式が開催されました。これは、松本市内のアジアからの私費留学生を対象に日本語小論文を募集し、この中から最優秀1点、優秀2点、佳作5点、特別賞2点を選考し、奨学金を授与するもので、受賞者の10名を含めて約50名の参加者が集まって行われました。

第1部の授賞式に引き続き、第2部では松本大学の尻無浜博幸教授による「松本ワイズメンズクラブ『ローカルなボランティア活動』」と題しての特別講演、これに引き続き留学生を交えての交流会がとり行われました。

今回は、これまでの故伊藤義則ワイズを記念しての伊藤賞と共に、山梨YMCA特別賞が新たに加わり、山

梨YMCA名誉主事として私から授与させていただき、まだYMCAのない長野県へのYMCA設立への期待を将来に望ませました。また、特別講演の尻無浜教授は、かつて東京YMCAのスタッフであったということもあり、長野県のYMCA人脈の一端もうかがうことが出来ました。受賞者の中から現松本ワイズメンバーも生み出している、地方都市の松本で営々と行われているこのアジア賞は、地域におけるグローバル・国際的な活動として、まさにワイズ・YMCAが取り組むべきものであると言えます。



右：山梨YMCA特別賞の張珺瑶さん（中国）

地域奉仕 地域奉仕事業主任
事業通信 相川 達男（東京江東）

▼ **世界YMCA同盟難民緊急支援募金**

世界YMCA同盟より国際的な難民支援のための緊急募金の要請がきています。年始の各クラブの例会などでぜひお声掛けを頂きご協力をお願いいたします。

【世界同盟によるアピール】

現在ヨーロッパは未曾有の難民危機に直面しています。しかし私たち世界中のYMCAは、同時にアフリカにおけるケニア、ソマリア、南スーダン、エチオピアからの亡命者やレバノンやヨルダンにあるパレスチナやシリアから逃れて来た難民キャンプの事を忘れてはなりません。世界各地のYMCAが、難民支援のためにこの困難に取り組んでいます。11月4日に関係者トップが集まる世界YMCA同盟「難民支援委員会」で、世界のYMCAに募金を呼びかけることを決議しました。

募金期間：2016年1月30日(土)まで

お近くのYMCA、またはゆうちょ銀行にて募金を受付けております。振替貯金:00190-6-464236

名義:日本YMCA同盟 地域国際募金口

(難民緊急支援と明記ください)

(YMCAへの寄付金は、寄付金控除の対象となります)

▼ **CS写真コンテスト続報**

渡辺理事の巻頭メッセージにもありますように「CS写真コンテスト」が、アジア地域全体で開催されることになりました。概要を再掲します。奮ってご応募下さい。

【応募対象写真】2015年4月～2016年4月末までに撮影されたCS活動を題材とした写真。応募写真には必ずコメントを付け加えてください。

【応募期間】2016年3月15日～4月30日

作品の送付先等詳細は追ってご案内致します。東日本区HPの「地域奉仕」のページもご参照下さい。

▼ **ネパール地震緊急支援募金報告(YMCA同盟)**

昨年4月25日に発生しましたネパール地震につきまして皆様に緊急支援募金をお願いしましたが、去る11月28日～12月2日にかけて神戸YMCA・松田道子スタッフと日本YMCA同盟・山根一毅スタッフが、ネパールを訪問し、日本のYMCAが支援する被災地支援の現場の視察と今後の支援について話し合いを行なってきました。

全国のYMCAやワイズメンズクラブ、YMCAに連なるみなさんから寄せられた支援金の総額は、16,679,880円(神戸市社協からの740万円を含む)となりました。

すでに、被災地の子どもたちに対して制服や学用品などの提供が始まっています。

第19回東日本区大会 2016年6月4日(土)5日(日)



ワイズ
にひかれ善光寺



今年の東日本区大会は、長野市が舞台です。ホストする長野クラブは、設立5年目のヨチヨチ歩きですが、全会員一丸となって一生懸命準備をしております。2月上旬には大会要項と登録申込書をお届けする予定です。年頭あたり、会長からご挨拶が届きました。

~~~~~

ワイズメンの皆様、明けましておめでとうございます。渡辺隆理事のもと新緑の信州で2016年6月4日(土)～5日(日)にかけて開催されます『第19回東日本区大会』をホストさせていただく長野クラブです。大会テーマは、「ワイズにひかれ 善光寺 ～原点に立ち未来の扉を開こう～」といたしました。私たちの街は宗派を問わない善光寺の門前町として

発展して来た長野市です。上信越高原国立公園に囲まれて山紫水明の観光都市でもありまして、1998年には冬季オリンピックを成功させております。大勢のワイズメンをお迎えして、未来への扉を開く東日本区大会にしたいと頑張っております。

皆さまにご満足いただける大会にしようと、生まれたばかりの長野クラブではありますが、スポンサークラブ甲府の大きな力をいただき、またあずさ部の各クラブの方々、より近くの松本クラブ、信越妙高クラブまた近隣クラブのご協力をいただき大きな力になっております。ワイズの皆さま「ワイズにひかれ善光寺」へ大勢ご参加いただき、大会を成功させてくださるようお願い申し上げます。長野クラブ会長 森本 俊子



## ワイズにおける〇〇宣言 ヒストリアン 仙洞田安宏(甲府)

新しい年を迎えますと、「今年は〇〇をする!」あるいは「〇〇を止める!」などと家族や周りの人に宣言する人も多いと思います。「宣言」という言葉を辞書で調べますと「個人・団体・国家などが、意見・方針などを外部に表明すること。また、その内容」とあります。

そこで、過去ワイズで行われた「宣言」を、文献から拾い出してみました。

### ● '95ヨコハマ宣言

1995年、横浜市で開催された第49回日本区大会で、当時の岡本尚男理事が、前年起きた阪神・淡路大震災を受けて、20世紀に生きる自分たちの責任として次世代に残すべきもの、引き継ぐべきものを明確にしたいとして提案、採択されました。

### ● 十勝宣言

1999年、帯広市で開かれた第18回アジア地域大会で採択されました。大会キャッチフレーズ「より良い世界を次の世代に-美しい地球を守ろう」を受けてのもので、対人地雷廃絶にも触れられています。

### ● 環境宣言

まだ記憶に新しいですが、2010年に横浜で開催された第69回国際大会での宣言です。「ワイズメンズクラブ国際協会は、カーボンニュートラルを達成します」というものです。

日本、アジア、国際とステージは違いますが、それぞれの場面の息吹が伝わってきます。

東日本区は次年度20周年を迎えます。混沌とした世界状況の中で、子どもたちに夢のある未来を残す事が出来るのか、「成人」として新たな宣言をする時かも知れません。



東日本区事務所及び理事事務局より、お知らせ・お願いです。

### ● 後期半年報

クラブ会長さんは、1月1日現在の会員の現況を、1月10日までに、所属部の部長さんに報告して下さい。部長さんは、これを取り纏め、1月15日までに池田直文会員増強事業主任と東日本区事務所へ報告して下さい。

### ● 後期区費・各種献金は2月15日までに

今月中に各クラブ会長宛に後期区費の請求を送ります。2月15日までに東日本区宛に納付願います。

また、各種献金(CS・ASF・FF・BF・TOF・BF・YES)は、各部を經由して納付して頂く事になっています。

### ● 次期クラブ会長さんはお決まりですか?

3月5日(土)・6日(日)の二日間にわたり、次期クラブ会長・部役員研修会が、日本YMCA同盟東山荘で開催されます。1月中に、現会長さん宛に案内致しますので、クラブ内での準備をお願いします。



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。永年に亘るワイズダムへのご奉仕に感謝申し上げます。

■ 神山 巍 様(東京) 12月4日ご逝去

■ 林 福松 様(東京グリーン) 12月26日ご逝去



### 12月の新入会者紹介

☆中原真澄さん(もりおか) ☆石橋教弘さん(茨城) ☆神山玄太さん(甲府) ☆露木淳司さん(甲府) ☆荻野 清さん(甲府21) ☆小澤智之さん(甲府21) ☆佐久間真人さん(三島) ☆綾野憲夫さん(熱海グローリー) ☆小野田政弘さん(熱海グローリー) ☆鈴木博さん(熱海グローリー)